

持続可能な米づくりを目指した 「つきあかり」安定多収栽培指針を発行！

「持続可能な米づくり」の確立に向けて関係機関が一体となり「つきあかり」の作付拡大を推進しています。当センターは生産者のご協力のもと、関係機関と連携協力し取り組んできた成果として「つきあかり」安定多収栽培指針を発行しました。

島根県では米価の下落や生産資材の高騰に対応した「持続可能な米づくり」の確立に向けて、多収穫品種の導入による単位収量当たりの生産コスト低減を図っています。

「つきあかり」は収量性が高く、良好な食味が実需者に高く評価されています。現在同熟期の「ハナエチゼン」からの作付転換を図るとともに、栽培面積の拡大に取り組んでいます。県では栽培試験の実施、現地実証ほ及び展示ほの設置等を通じ、当センター栽培研究部・技術普及部、農林水産振興センター農業部、県庁農山漁村振興課が一体となって品種特性や安定多収栽培法の検討を行ってきました。

このたび、これらの成果として「つきあかり」安定多収栽培指針を発行しました。育苗管理、栽植密度、肥培管理、水管理、収穫適期等、「つきあかり」を初めて栽培される方にもわかりやすいよう記載しています。是非ご活用ください！



図 1 WEB ページ QR コード



<https://www.pref.shimane.lg.jp/nogyogijutsu/gijutsu/index.html>



図 2 「つきあかり」栽培指針

問い合わせ先：栽培研究部作物科（担当:川岡 達也）

TEL 0853-22-6946

E_mail:nougi@pref.shimane.lg.jp